

開一小だより



第363号

平成29年1月10日発行
練馬区立開進第一小学校
校長 石神 徹

子どもから学ぶ

校長 石神 徹

平成29年、酉年を迎えています。昨年末から本校には恒例の年賀状コンクール作品が掲示されており、新年の雰囲気は高まっていました。子どもたちの図柄は鶏や朝日、富士山などが多く見られつつも幅広く、高学年では、顔の左半分が鶏を模し、右半分が人を模すといった技術を施したものや国語で精読した「大造じいさんとガン」を生かして格調をもたせたものがありました。作品展同様、子どもたちの発想に刺激を受けます。

例年より長い冬休みが明けた、10日（火）、子どもたちの声が、活力が、学校に戻ってきました。

冒頭記したように、子どもたちの考え方や作品には大人をはっ！と思わせるものがあります。昨年末、4年生理科授業でのこと。あたためり方を巡るものの変容などを考察する単元テストの返却授業の終末に、子どもたちは学んだことや感想を発言しました。「アルコールランプのアルコールは危険なので8分目入れるけど、どうして2分目だと危険になるのか。」「火は横から近づけるのが正解だけど、マッチを持つ手を横にして、アルコールランプの上から近づけてはいけないのか。」などの発展的な疑問がありました。火を扱うアルコールランプについては、教科書に厳重と考えるほど、安全な取り扱い方法が記載されています。それは理解しているけれど、その理由や背景に迫りたいという子どもたちの心がありました。

まさしく、これが学ぶ姿勢だと私は思います。教科書に書かれているから、先生が言うからではなく、背景に迫る追究心に、その場にいた私が学ぶ構えを改めて学んだのです。

子どもは発展途上です。学校では、教科等の学習で先人の知恵である系統的な知識を獲得し、思考方法を培います。また、多くの友だちと交流する中で人との関わり方を学び、社会性を身につけます。家庭では、礼儀やマナーなど躾を授けられ、心の安定を保ち、温めます。

しかし、子どもをみくびってはいけません。大人が既知として、結論を急ぎ、結末になだれ込むのではなく、素朴な疑問にじっくりと向き合う姿勢をもっていきます。そのような時期でもあります。家庭では、子どもの疑問に、大人の知っている答を即示すのではなく、答を出す方法・手だてをともに考えてほしいと思っています。我々の知っている答以上の答が出てくるかもしれません。知識以上に子どもの追究心が強化されることでしょう。教育、子育ての目的は子どもの自立にあり、教師や保護者を越えるまでに子どもを伸ばすことにあります。大人の知識で子どもを留めておいてはいけません。

フランスの詩の一節に“学ぶとは誠実を胸に刻むこと”とあります。子どもの学ぶ姿勢に教師も保護者も育てる姿勢が問われ、ともに学んでいくのです。

三学期は学年のまとめの時期です。これまでの学習を基にして、子どものはてな？を引き出し、知識を超えた骨太の学びの世界をつくっていきます。

1月の生活目標

《心をこめてあいさつをしよう。》

生活指導主任 瀧谷 歩

昨年12月、高学年の児童は、「おもてなしの心」についてのお話を、元 JAL の CAの方に伺いました。

「おもてなし」とは、相手を思いやる心を持ち、それを態度や行動で表していくことだと知りました。そのいちばん始めは、まずは相手を意識する心を持ち、そして身支度を整え、姿勢を正しくして、相手の目をみてから挨拶することだそうです。

今年も心をこめて、まずは「おはようございます」のあいさつから、気持ちよく学校生活をスタートさせたいものです。

1月の行事予定

- | | |
|--------|---|
| 10日（火） | 始業式 午前授業 |
| 11日（水） | 安全指導 午前授業（1～4年）
給食始 計測（5・6年） 委員会 |
| 12日（木） | 計測（3・4年） |
| 13日（金） | 食育クイズ 計測（1・2年） |
| 14日（土） | 体育朝会（低） 音楽朝会（高）
土曜授業日 月曜時間割 |
| 16日（月） | 全校朝会 校内書き初め展始
クラブ（撮影）
もりもりウィーク（持久走）始 |
| 18日（水） | たてわり班 |
| 19日（木） | 避難訓練 |
| 23日（月） | 全校朝会 クラブ |
| 25日（水） | 音楽朝会（低） 体育朝会（高）
校内研究のため午前授業
（1～2は5時間授業） |
| 27日（金） | 校内書き初め展終 |
| 30日（月） | 全校朝会 委員会 |
| 31日（火） | もりもりウィーク（持久走）終
社会科見学（4年生） |

書き初め展

国語部 西留 安久

書き初めは、昔から1月2日に行われるお正月の行事です。正月2日は仕事始めとされ、例えば農家では田畑に鍬を入れたり田畑や山の神を祀ったりしました。書き初めもこのしきたりになったものです。

学校では、書写の学習として、1・2年生は硬筆で、3～6年生は毛筆で書き初めをします。子どもたちは、心をこめて一字一字ていねいに書きます。作品は、「校内書き初め展」で各教室の廊下に掲示します。来校された折にぜひご覧ください。また、練馬区小中学校連合書き初め展も開催されます。あわせてご覧ください。

- ・校内書き初め展 1月16日（月）～27日（金）
- ・連合書き初め展 1月28日（土）・29日（日）
（練馬区美術館にて、詳しくは1月にプリントでお知らせします。）



「ふれあい給食」にむけて 2月3日（水）

3年 宗像 映子

3年生の教室に近隣の農家の方をお招きし「ふれあい給食会」を行います。

3年生は、社会科の学習で農家の仕事について学んでいます。また、総合的な学習の時間には、大豆や大根を育て、一人一人がテーマを決め調べ学習を行っています。

12月には、実際に大根掘りやたくあん作りも体験し、農家の方から大根作りについてお話をうかがいました。

当日は、野菜を作っていたことへの感謝の気持ちをこめて、自分たちが学習したことを発表する予定です。



「伸びゆく開一の子」発表会

教務主任 板澤 絢子

昨年度までの3年間「『生きる力』の育成 ～知・徳・体の充実～」を研究主題として、国語・体育・道徳の授業を研究してきました。本年度は、算数の研究を深めると共に、子供たちが過ごしている開一小の教育活動の取組を紹介します。

今年は、平成29年2月10日（金）に「伸びゆく開一の子」発表会を行います。学校の教育活動を進めていく中で、子供たちの目覚ましい変容・成長が見られました。そこで、5校時に全学級で授業を公開いたします。その後、体育館において開一小の取組と子供たちの変容・成長をご報告したいと思っております。

ご多用の中とは思いますが、学校に足を運んでいただければ幸いです。



『2分の1成人式』に向けて

4年 西留 安久

20歳までの折り返し地点にいる4年生。2分の1成人式とはそんな4年生が、今まで生きてきた10年間の振り返り、たくさんの人に感謝するとともに、自分の将来や目標を自分自身の力で考える場です。単に将来になりたい職業や、になりたい自分像を紹介するだけに留まらず、その夢を実現させるためにはどのようなことをしていかなければならないかを子供たちによく考えさせたいです。また、保護者の方々にとっても、子供の成長を改めて確認する場であり、自らの子育てを振り返る機会にいただければ、と思っています。20歳に向けて夢と希望をもち、更なる成長へと繋げられる機会にするため、3学期開始と同時に準備を進めていきます。たくさんの方々から祝っていただき、心温まる会になるようご協力お願いいたします。